

第17回 京都府における スポーツ施設のあり方懇話会 資料

令和5年11月10日

1 これまでの有識者懇話会における意見のまとめ

国際大会、プロスポーツ

国際大会やプロスポーツ等の「見る機能」を備え、夢や希望を与える施設

賑わい創出

子育て世代をはじめとした幅広い世代が集まるような、地域の賑わい創出に資する施設

地域の安心拠点

防災拠点としての機能を果たし、地域の安心安全に寄与する施設

多機能・複合的

多機能、複合的な機能を備え、経済的にも持続可能となる施設

子どもたちの活動拠点

府内の子どもたちのスポーツ拠点となる施設

未来志向

デジタル技術等を活用し、20～30年後の未来を見据えた最先端の施設

整備候補地

府立大学は京都のまちづくりや環境面は魅力的、向日町競輪場は敷地全体を使った多機能・複合的な利用が可能

◆ 屋内スポーツ施設として求められる機能に対する御意見

◆ 整備候補地に対する御意見

令和5年3月 京都府総合計画

■ 8つの広域連携プロジェクト

文化・広域連携プロジェクト

歴史に裏付けられた、伝統文化から最先端の文化までが共存する、多様化と寛容性のある京都の文化を土台として京都から文化創造・発信を行い、多彩な交流を図ることで、活力と潤いのある豊かな社会を築き上げ、世界に貢献する「文化の都・京都」を実現

■ 主要な方策

- 北山エリア、京都文化博物館、府立郷土資料館等を結んだ新たな文化・交流拠点づくりとネットワーク化



令和5年6月 京都府総合計画

■山城地域振興計画

乙訓地域（向日市、長岡京市、大山崎町）の今後目指すべき将来像（抜粋）
幹線道路等の都市基盤の整備や地域と連携した環境にやさしいまちづくりを進め、活力のある、安全でくらしやすい地域をめざします。

- 市町や地元企業と連携した共生型地域づくりや活力を生み出すまちづくりの推進
 - ・ JR向日町駅周辺（中略）の整備に加え、高速バスターミナルの更なる活用など、関係企業、市町と一体となって、活力を生み出すまちづくりを進めます。

令和5年9月 向日町競輪場基本構想（中間案）

競輪事業の継続に必要な施設の再整備

■コンセプト

- ・ 競輪開催の場としての機能だけでなく、レジャーや憩いの場、スポーツ活動・防災の拠点などの多目的・複合的な機能を併せ持った、地域の交流・賑わいの拠点へと転換する。
- ・ 競輪・自転車競技関係者のみならず、府民に広く親しまれるような存在に変革する。